

経営比較分析表（令和4年度決算）

石川県小松市 小松市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	ド透I未訓ガ	救護が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
106,405	31,219	-	第2種該当	7：1

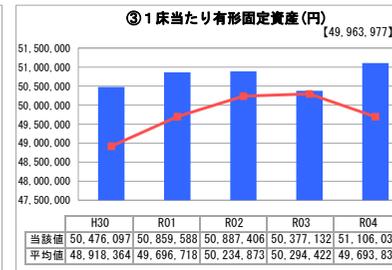
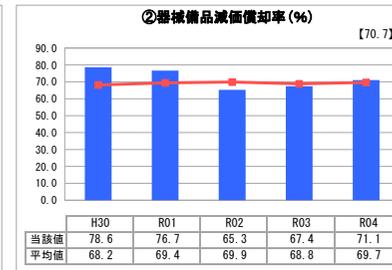
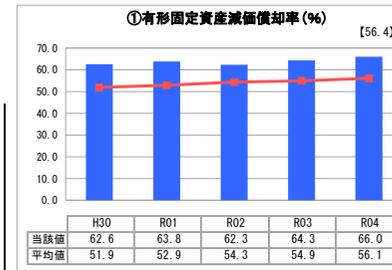
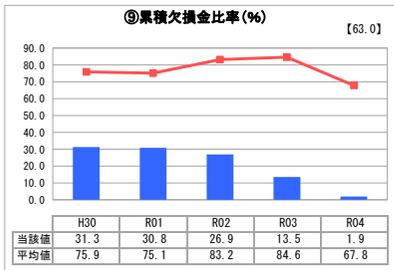
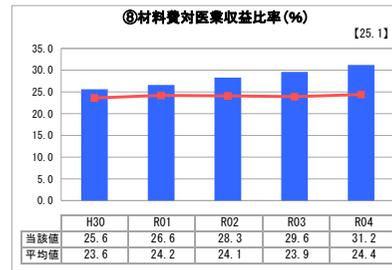
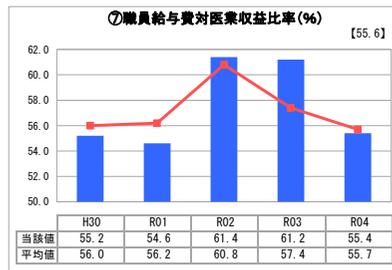
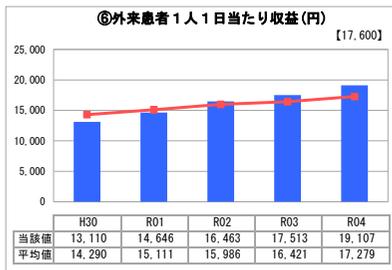
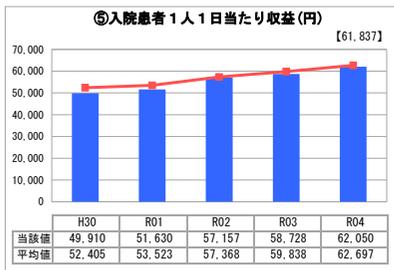
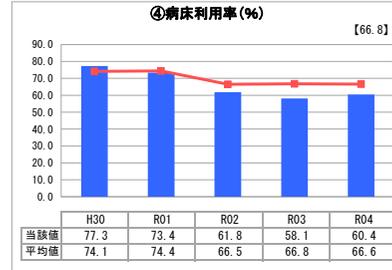
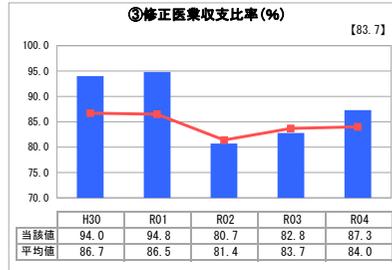
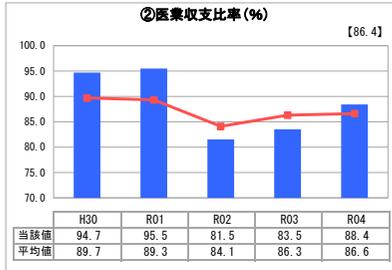
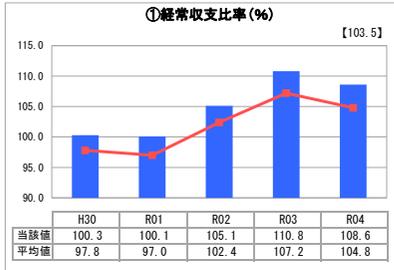
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
300	-	10
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
26	4	340
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
311	-	311

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	-	-

I 地域において担っている役割

当院は南加賀医療圏における急性期医療の中核病院として、がん医療、救急医療、生活習慣病を中心に質の高い医療を提供しています。また、小児医療、合併疾患を有する妊婦に対する産科医療、急性期精神医療にも重点を置いているほか、災害拠点病院や臨床研修指定病院など、様々な機能を担っています。さらに、南加賀医療圏において唯一の感染症指定病院として、新型コロナウイルス感染症対策にも重要な役割を担っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①新型コロナウイルス感染症補助金等の縮小により、黒字幅が減少しているが100%は超えている。②100%を大きく下回っていますが、これは、新型コロナウイルス感染症の対応に伴うものです。③新型コロナウイルス感染症対応のための病床確保の影響を受け、病床利用率は下がっています。④類似病院平均とほぼ同額となりました。⑤高額抗がん剤の影響等で類似病院平均よりも高い水準にあるため、価格交渉等に取り組んでいる所です。⑥累積欠損金の解消には至っていないものの、類似病院平均より低く、着実に改善傾向にあります。

2. 老朽化の状況について

①建設より30年余りを経過し、法定耐用年数に近づいている資産も増えつつありますが、建物設備については、大規模リニューアルを順次実施し、設備の更新を行っている所です。②医療器械についても、計画的に更新しており、割合は横ばいとなっています。③類似病院平均とほぼ同水準になっています。

全体総括

公立病院として、また、南加賀医療圏の中核病院として、結核・小児・感染など、不採算部門を抱えながらも黒字決算を継続しており、経営状況はおおむね健全です。今後も企業債残高の削減や累積欠損額の減少など、さらなる経営健全化に取り組んでいくこととしています。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、医療収益が回復しつつありますが、コロナ禍以前の水準までは戻ってはならず、補助金などにより、経常収支は黒字となりました。今後も、経営の健全化に努めていくこととしています。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。